

2 棚田保全活動の定着に向けて

(1) 棚田地域の課題

- ・昔は、集落に子供から高齢者までたくさんの方がいましたが、人口の減少や高齢化等により集落の活力が失われようとしています。
- ・また、近年では、集落自体がなくなるという深刻な事態やイノシシ、サル、シカ等による農作物への被害が拡大しています。
- ・後継者不足の中で、少ない労働力での農作業は大変です。農作業従事者の減少等による荒廃農地の増加も懸念されています。



棚田地域の崩壊（集落機能の低下、耕作放棄地の拡大）
～県民の財産の喪失により県民生活に影響～



崩れた水路



耕作放棄地



イノシシの被害（踏み荒らし）

(2) 地域ぐるみによる棚田保全に向けた取り組み

- ・農村集落は、地域の人たちで支え合いながら農業を中心として集落活動が行われてきました。
- ・しかし、人口の減少や高齢化に伴い集落機能が低下し、道普請や伝統行事など共同で行われてきたものができなくなり、棚田の保管理も難しくなってきました。
- ・こうしたことから、地域のみなさんの話し合いによって現状を見つめ直し、将来計画をたて、地域の組織づくりと棚田保全に向けた共同活動の取り組みが重要となっています。



地域住民による棚田保全活動の定着へ
～ふるさとの棚田を次世代へ伝えよう～